

# 社会資本総合整備計画書 (盛岡市)

平成29年3月17日

社会資本総合整備計画

平成29年 3月17日

計画の名称	3 もりおか交通戦略の推進							重点計画の該当										
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)			交付対象	盛岡市													
計画の目標	<p>I 歩いて楽しむ中心市街地の形成 中心市街地における回遊性及びアクセス性の向上を図り、歩行者や自転車が安心して快適に移動することができる賑わいのある空間を創出する。</p> <p>II 公共交通軸の充実・強化 各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を充実・強化し、自家用車から公共交通への転換を促進する。</p>																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>・中心市街地を快適に移動できると感じる人の割合を現状から約4%増加させる。 ・中心市街地への通勤における自家用車の利用割合を約7%削減させる。</p>																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値					備考									
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	備考											
	中心市街地における歩行者、自転車利用者の意識調査による、中心市街地内を移動する際に満足と感じる人の割合			56%	58%	60%	目標値は、もりおか交通戦略における目標値 (H30) とし、現況値は、H26年度に調査予定であるため、類似調査結果の傾向をもとに予測した											
	事業所従業者への実態調査による、中心市街地への移動に対する自動車利用の割合			34%	31%	27%												
全体事業費	合計 (A+B+C)	9,721 百万円	A	9,139 百万円	B	C	582 百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.0%							
交付対象事業																		
A 基幹事業 (街路事業)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
											H27	H28	H29	H30	H31			
3-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	S街路	改築	梨木町上米内線 (II)	現道拡幅L=0.68km	盛岡市						4,920	-	
3-A-2	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	S街路	改築	盛岡駅南大通線 (大沢川原)	現道拡幅L=0.22km	盛岡市						1,300	-	
3-A-3	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	S街路	改築	明治橋大沢川原線 (大通)	現道拡幅L=0.16km	盛岡市						2,769	-	
3-A-5	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	高松二丁目高松四丁目線・本町通二丁目小鳥沢2号線	自転車走行空間L=0.95km	盛岡市						150	-	
											小計	9,139						
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31				
											合計	0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
3-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	新駅設置	前潟新駅設置	新駅の詳細設計・整備	盛岡市						200	
3-C-2	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	公共交通（バス等）	バス停整備	バス停上屋の設置5箇所	盛岡市						12	
3-C-3	施設整備	一般	盛岡市	間接	民間	情報提供施設設置	バス運行情報提供システムの整備	バスロケーションシステムの更新高度化	盛岡市						110	
3-C-4	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	都市交通	自転車駐車場の整備	自転車駐車場整備3箇所	盛岡市						45	
3-C-5	社会実験	一般	盛岡市	直接	-	MM	モビリティ・マネジメント	公共交通軸沿線の市民対象	盛岡市						20	
3-C-6	社会実験	一般	盛岡市	直接	-	社会実験	交差点改善社会実験（菜園地区）	自歩優先エリアの実験	盛岡市						30	
3-C-7	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	公共交通（バス等）	バス乗場整備（盛岡駅西口）	バスパース、エレベータ1基	盛岡市						120	
3-C-8	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	公共交通（バス等）	バス乗場整備（岩手飯岡駅東口）	バス乗場、バス待機場整備	盛岡市						20	
3-C-9	計画・調査	一般	盛岡市	直接	-	計画調査	交通戦略（第二期）の策定	アンケート調査等、計画策定	盛岡市						20	
3-C-10	計画・調査	一般	盛岡市	直接	-	計画調査	道路整備プログラムの策定	計画策定	盛岡市						5	
											合計	582				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
3-C-1	各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を充実・強化し、自家用車から公共交通への転換を促進する。	
3-C-2	街路事業（3-A-1～4）と一体的に整備し、自家用車から公共交通への転換を促進する。	
3-C-3	街路事業（3-A-1～4）と一体的にバスの運行情報を提供する施設を設置若しくは更新し、利用者の利便性の向上を図る。	
3-C-4	街路事業（3-A-2, 4）や公共交通軸の利便性の強化と一体的に、自転車駐車環境を改善し、自転車による回遊性の向上を図る。	
3-C-5	街路事業（3-A-1～4）と一体的に地球環境や公共交通利用者に望ましい交通行動に向けて、自発的な行動の変容を促す啓発活動を実施。	
3-C-6	街路事業（3-A-2）と一体的に、菜園地区の交差点改良に係る社会実験を実施し、中心市街地における歩行者自転車の移動快適性向上に資するかを検証する。	
3-C-7	各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を図るため、鉄道とバスの結節強化し、自動車から公共交通への転換を促進する。	
3-C-8	各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を図るため、鉄道とバスの結節強化し、自動車から公共交通への転換を促進する。	
3-C-9	街路事業（3-A-1～4）における計画に対する評価・分析を行い、当該計画の見直しを行う。	
3-C-10	3-C-9を踏まえ、街路事業（3-A-1～4）等の事業プログラムを見直し、効率的、効果的な整備を図る。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
											合計	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

交付金の執行状況

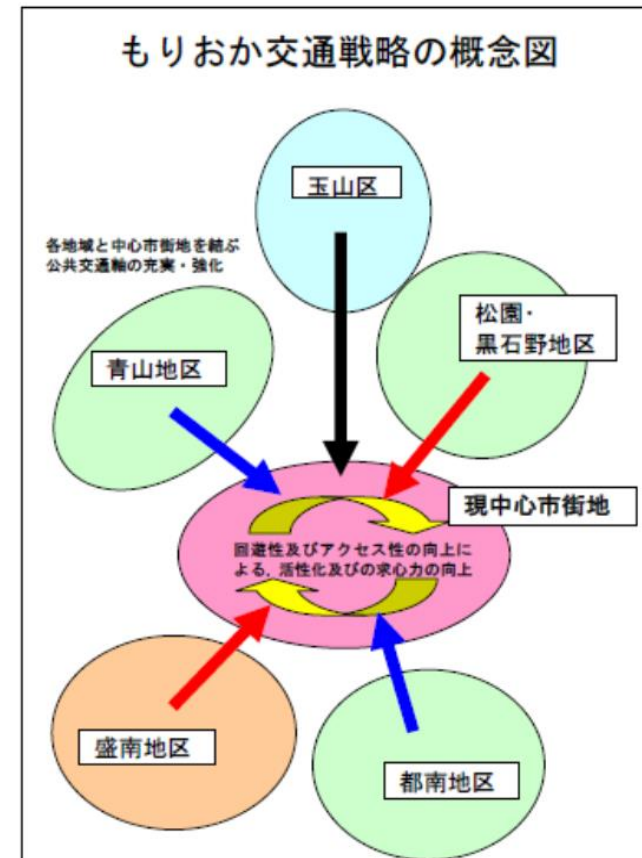
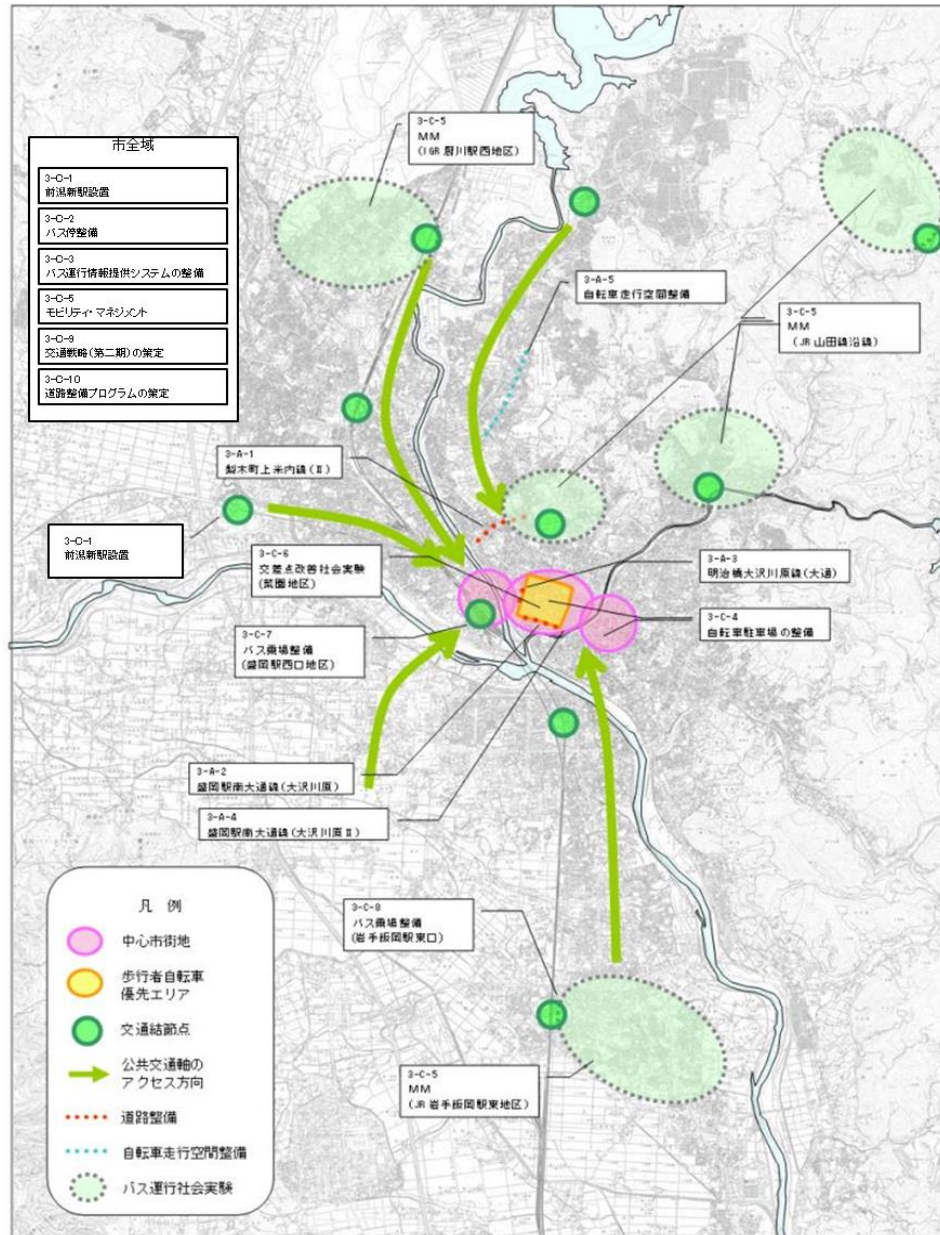
(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	276.145				
計画別流用 増△減額 (b)	0.000				
交付額 (c=a+b)	276.145				
前年度からの繰越額 (d)	0.000				
支払済額 (e)	186.233				
翌年度繰越額 (f)	87.989				
うち未契約繰越額 (g)	41.046				
不用額 (h = c+d-e-f)	1.923				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	15.6%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議に不測の時間を要したため。				

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	3 もりおか交通戦略の推進	交付対象	盛岡市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:3 もりおか交通戦略の推進

市町村名: 盛岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合	
1)計画の目標が市町村の総合計画[盛岡市総合計画]と適合している。	○
2)計画の目標が「盛岡市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
3)計画の目標が「盛岡市総合交通計画」と適合している。	○
4)計画の目標が「もりおか交通戦略」と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性がある	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている	○
③事業の効果	
1)目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
2)ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
④計画の具体性	
1)ハード整備の必要性が整理されている	○
2)ソフト施策の目的が明確である	○
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○